

毎年

あなたも

100ドルを

ロータリー財団ニュースレター

2009年5月



不況下で寄付を増やすには

ロータリー財団の年次プログラム基金に寄付を行っている会員は、クラブにどのくらいいるでしょうか。

資金調達の専門家で、デンバー・サウスイースト(米国コロラド州)ロータリー・クラブ会員であるビル・エック氏は、不況下といえども、ロータリーの価値を認識してさえいれば、ロータリアンは必ず寄付してくれる、と話します。

第5450地区で財団委員長と年次寄付委員長を務めた経験のあるエック氏は、一対一で、あるいは、グループでの活発な話し合いの機会を設けて、以下の質問を投げかけてみるよう提案しています。これに答えることで、相手は、ロータリーの価値を会得し、自ずと寄付をしようという気持ちが湧いてくるものだと、エック氏は言います。

- 「自分自身にとって、ロータリーで大切なことは何か」
- 「ロータリーは、自分の人生にどのような影響を与えたか」
- 「自分がロータリーで行ったことで、一番誇りに感じていることは何か。また、それはなぜか」
- 「ロータリーで一番有意義だった経験は何か。また、それはなぜか」
- 「世界理解、親善、平和を推進するために、自分はどんな役割を果たしているか」
- 「国際ロータリーのロータリー財団があるおかげで、ロータリー、そして自分は何かができるか」
- 「世界中の人々の生活をよりよくすることは、自分にとってなぜ重要なのか」
- 「ロータリー財団が今後も大勢の人々に役立っていけるよう、自分はどのような役割を果たすことができるか」
- 「ロータリー財団のプログラムに寄付するために百万ドルがあったら、それをどのように使うか。また、寄付を行うことは、自分にとってどのような意味があるのか」

「ロータリアンがロータリーから享受している価値に気づけば、ロータリー財団に対する感謝の気持ちと、財団が自分自身のものであるという自覚が生まれ、財団に毎年寄付をしようという意欲も高まる」とエック氏は述べます。

インドの補助金プロジェクトが米国の学校を支援



写真提供: ラム・ガワンデ氏

インドのロータリアンの惜しみない寄付により、同国は2007-08年度の財団寄付総額で3位に入りました。先ごろ、マハラシュトラ州、ナーグプルのロータリアンが、米国オハイオ州、アセンズ近くの学区に通う800人以上の子供たちに数千冊の教科書の提供するために支援しました。この地区

8月にトリンプル小学校の生徒に新しい教科書を手渡すラム・ガワンデ氏(右)。

に住む家族の40パーセントは、貧困レベルを下回っています。

第6690地区ガバナー・エレクトであるラム・ガワンデ氏(アセンズ・ロータリー・クラブ)は、18年近くにわたり、故郷ナーグブルの人々の生活改善を目的としたプロジェクトに携わってきました。ガワンデ氏が地区ガバナーに選ばれたことを耳にしたナーグブルのロータリアンたちは、氏の長年にわたる支援への感謝の気持ちとして、アセンズの人々のために5,100米ドルを集めました。ガワンデ氏は、地元学区にある数校の中学校に読書用の本と数学の教科書を寄贈するために、この寄付金を利用しました。

「米国のロータリーがインドのために尽くしてくれたことに対し、インドの人々はなんとか感謝の気

持ちを表したいと思っているんです」とガワンデ氏。「識字率向上という共通の使命の下、私たちは一体となることができました」

8,530ドルの財団マッチング・グラントと、アセンズ・クラブおよび第6690地区からの2,300ドルの寄付も、ナーグブルのロータリアンからの支援に上乗せされました。アセンズのロータリアンが、米国地理学協会から数学と理科の教科書および読書用の本を購入しました。

「生徒たちの感謝の表情は、私たちがインドの学校で見た(生徒たちの)表情とまるで同じでした。インドのロータリアンがここ(米国)の生徒たちを喜ばせることができ、感無量です」とガワンデ氏。

生活の質の改善に不可欠な「基本的教育と識字率向上」は、ロータリー財団未来の夢計画の6つの重点分野のひとつに指定されています。未来の夢計画は、2010年7月1日から試験的に実施されます。

寄付進み前線

2008-09年度年次プログラム基金寄付中間集計

6,390万ドル

1月

2月

3月

4月

5月

6月

クラブの年次プログラム基金目標をご提出ください

クラブが2009-10年度寄付増進目標書式をロータリー財団(年次プログラム基金)に提出する期日は5月1日でした。まだ年次プログラム基金目標を設定していないクラブは、できるだけ早く設定し、地区ガバナー・エレクトまでご提出ください。

仕事や事業において目標を設定することが重要であるのと同じように、年次プログラム基金の目標設定も、財団の年次寄付支援を成功へと導くカギとなります。挑戦の甲斐があり、かつ現実的な年次プログラム基金目標を設定することで、「毎年あなたも100ドルを」推進活動が2009-10年度にも好調なスタートを切ることができるよう、どうかご協力をお願いいたします。

目標を立てる際には、地区月次寄付報告書を参考にしてください(クラブ幹事がRIウェブサイトの「会員アクセス」から入手できます)。この報告書で、昨年度の目標と、これに向けた達成率を見ることができます。その後、www.rotary.orgからアクセスできる2009-10年度寄付増進クラブ目標報告書式に新しい目標を入力してください。

全クラブが年次寄付目標を設定することが非常に重要です。年次プログラム基金目標を設定したクラブは、目標を設定していないクラブと比べると、年次プログラム基金への寄付額が高く、財団プログラムへの参加も3、4倍となっています。

ご寄付でロータリーの「夢をかたちに」



年次プログラム基金へのご寄付は、地元の地域社会を含め、世界中の人々のニーズに生か

されています。フランスのツールーズ・オヴァリー・ロータリー・クラブは、財団の地区補助金を利用して、アルツハイマー病の患者とその家族のためのレクリエーション・センターに家具を備えつけました。精神科医、看護婦、ボランティアの付き添いの下、このセンターでは週に2回、患者の記憶力を鍛えるゲームや歌、そのほかの活動を行っています。また、患者がセンターに来ることで、介護者に休養を与えることも目的の一つです。

地元地域の人々をはじめ、世界中の人々の暮らしをよりよくするために、ぜひとも今年度寄付をお寄せください。

「毎年あなたも100ドルを」と「ロータリーの2億ドルのチャレンジ」が手を取り合う

「毎年あなたも100ドルを」の合言葉の下に年次プログラム基金に寄せられる寄付金はすべて、ロータリー財団の貴重な財源として、財団プログラムと世界ポリオ撲滅のために役立てられています。先ごろ、第27ゾーンと28ゾーン(米国)のロータリアンのボランティア・チームが、ナイジェリア、カドゥナのサボ・ゲロ村の生活を改善するために、現地のロータリアンと手を組み、学校にコンクリートの床を張り、壊れた井戸の修復に当たりました。このプロジェクトの実施中、ほかのチームメンバーが近くの病院で手術やけがの治療を行いました。これらはすべて、財団のマッチング・グラント・プロジェクトの一環として行われたものです。

訪れたボランティアのロータリアンは、現地のロータリアンから、サボ・ゲロ地域の長老たちと良好な関係を築くのに苦労していたことを聞きました。それまで、この長老たちは、2,500人の子供たちへの予防接種をかたく拒絶していたのです。しかし、このプロジェクトが終了した後、長老らは、全国予防接種プラスデーに行われるロータリーとユニセフ合同の予防接種で、村のすべての

子供たちにワクチンを投与することを許可してくれました。

年次プログラム基金への寄付は、ロータリー財団の教育的プログラムと人道的プログラムの命の源とも言えるものです。寄付の50パーセントは、ポリオ・プラスを含む財団プログラムを援助するために国際財団活動資金(WF)へ充てられ、残りの50パーセントは地区財団活動資金(DDF)となり、これによって地区とクラブは参加する財団プログラムを自由に選択できる仕組みとなっています。

地区は、未指定のDDFを「ロータリーの2億ドルのチャレンジ」に指定することもできます。これは、ビル・アンド・メリンダ・ゲイツ財団から寄せられた3億5,500万ドルの補助金に2億ドルを上乗せするために、ロータリー財団が行っている募金活動です。また、2009年6月30日以前に寄せられた年次プログラム基金への寄付は、ロータリーの「チャレンジ」の最終年度となる2011-12年度に、DDFおよびWFとして使用できるようになります。

毎年

あなたも

100ドルを

「毎年あなたも100ドルを」の活動の詳細をお求めの方、あるいは成果をあげた募金策の事例を紹介して下さる方は、以下までご連絡ください。

電話: 1-847-866-3352

ファックス: 1-847-328-5260

Eメール: erey@rotary.org

RIのウェブサイト: www.rotary.org

今すぐお申し込みを

四半期ごとにこのニュースレターを受信して、「毎年あなたも100ドルを」に関する最新情報をお読みください。クラブのほかの会員にも、受信を申し込み、活動へ参加するようぜひ呼びかけてください。RIのウェブサイト、www.rotary.orgからニュースレターの閲覧または定期受信の申し込みを行うことができます。

受信者で、インターネット・プロバイダーを変更した方は、新しいEメールアドレスを使って再度お申し込みください。

寄付履歴の確認

www.rotary.orgの日本語サイトから、右上端の「会員アクセス」をクリックしてください。ここから「ロータリー・ビジネス・オンライン」につながり、自分専用のEメールアドレスとパスワードを入力するよう求められます。「会員アクセス」をご利用いただくには、Eメールアドレスが国際ロータリーに通知されていなければなりません。EメールアドレスをEメール(data@rotary.org)にてご連絡ください。

「夢をかたちに」のテーマの下、2008-09年度年次プログラム基金目標額、米貨1億2,500万ドルの達成に向けて、どうかご支援をお願いいたします。